

## 教育学部

“薔薇の歌 プロジェクト”― 群馬の詩人 大手拓次を歌う ―

担当学部等 教育学部  
担当学科等 音楽教育講座  
担当者 西田 直嗣 准教授

### ◎事業概要

本プロジェクトは、群馬県を代表する詩人の1人、大手拓次の詩を音楽とともに発信し、大手拓次の地元である安中市を中心とした一般市民、またこれまで私が関わって来た大手拓次研究会の会員ならびに研究会に参加されている市民、そして、合唱団体、文芸団体等の人々に大手拓次の魅力を知ってもらうことを目的としている。大手拓次は現代の時代、事象の影響を受けがちな詩の風潮とは違い、普遍的な世界を描く象徴詩人で、朔太郎をしのぐ詩人との評価をうけながらあまり周知されておらず、多くの専門家により拓次の魅力が再認識され広く知られることが切望されている。

昨年大手拓次研究会より、会員のみならず広く多くの人々が親しめる歌曲を作曲してほしいという要望を聞くようになり、このプロジェクトを考えるに至った。

プロジェクトには2つの柱がある。一つは比較的内容が理解しやすい計9編の拓次の詩により作曲(4曲はすでに完成)し、群馬大学教育学部音楽科学生、群馬おきりこみ合唱団、安中市民合唱団、磯辺ハーモニーズドルチェ、群馬大学附属小学校PTA合唱団コーラル・コスモス、群馬県を代表するソプラノ歌手・佐藤貴子さん、バリトン歌手・猿谷友規さん他の参加により地元で演奏会を開き、大手拓次の詩を最も身近な芸術作品として据えることにより市民生活の文化的向上をはかること。もう一つは、「薔薇」を主題にした詩を一般公募し、最優秀作品に「大手拓次賞」を贈呈。その詩に作曲、発表し、拓次の詩による計9曲とともに数年をかけて出版すること。楽譜は教育機関、合唱団体、音楽団体、音楽家個人に配布し、歌っていただけるよう広報活動を行う。

今後安中市と連携してこのプロジェクトを進めていけるよう働きかけていきたいと考えている。このプロジェクトをきっかけに大手拓次の詩作を群馬県全体に音楽とともに届けたいと考える。

### ◎実施事業等

本プロジェクトは大手拓次研究会との共催で行うこととなった。

既に作曲された「まぼろしの薔薇第一集」については、出版、録音、CD制作を行い、県内外の合唱団、声楽家、教育機関に配布した。また、この合唱曲集に現在取り組んでいる合唱団は安中市民合唱団をはじめとする合唱団5団体。2015年3月に行われた「安中市早春フェスティバル」では安中市民合唱団・磯辺ハーモニーズドルチェと大手拓次研究会により朗読と合唱のコラボレーションが披露された。引き続き2015年4月29日に開催される「薔薇忌(大手拓次を偲ぶ会)」においても演奏される。そこでは「薔薇忌」に参加される一般市民とともに歌唱指導を交えながら合唱を行う。2015年10月10日には安中市民文化センターにおいて、後述する「大手拓次賞 作曲賞受賞作品披露演奏会」を開催し、前述の曲集、作曲賞曲を含む10曲以上の大手拓次の楽曲が演奏される予定。

「大手拓次賞」については全国から168編もの応募が寄せられ、3月に選考が行われたが、残念ながら該当者なしとなり、作曲賞、安中市長賞を含む3編が佳作入賞となった。2015年4月29日に開催される「薔薇忌」において、「大手拓次賞」授賞式が予定されているとともに、私が「まぼろしに咲く、大手拓次の薔薇の歌」と題した講演を行う。

現在この二つのイベントの内容を詰めながら、今年度も引き続きプロジェクトを行うための準備に取りかかっている。

### ◎期待される成果

一個人にとって真に魅力ある詩人・詩作との出会いは人生において大きな事象であるが、それは受動的な姿勢からは生まれにくいのが現状である。よってメディアや市場とは関係のないところで、優れた詩作を研究し、紹介して周知する活動が重要であり、大手拓次研究会はまさにその活動をこれまで行ってきた。

このプロジェクトによる大手拓次の歌曲、合唱曲の作曲、出版、演奏は、多くの専門家により再評価を切望されている大手拓次が、彼の地元である安中市を拠点として、音楽とともに広く発信され、また歌われ、その魅力を多くの人々に伝えることを可能とする。

地域の合唱団においては、地元が生んだ日本を代表する詩人の歌を歌うことで、その歌う活動が、歌を聴いてもらうことのみならず、社会的役割を担う活動となり、日頃の趣味として行っている活動がより意義深いものとなる。また同じ風土から生まれた詩を歌うことは、歌い手にとって特別な設定であり、充実した音楽活動が実現されている。

大手拓次研究会においても、これまで朗読のみであった活動が、音楽を伴うことで、より親しみやすく華やかな活動展開が可能となり、これまで地道に取り組んでこられた大手拓次の普及活動が、飛躍的に進むきっかけとなった。

また、大手拓次研究会とともに「薔薇」をテーマにした詩作のコンクール「大手拓次賞」を開設した。これにより文学の面でも詩作に対する積極的な市民の取り組みがなされ、「公募ガイド」への掲載をきっかけとして沖縄から秋田まで全国に「大手拓次賞」を改めて周知することができた。今秋「大手拓次」を冠したコンサートが予定されており、その広報活動、実際のコンサートを通して、今後いっそう大手拓次の詩を多くの人が目にし、日常の喧噪の中で、共感し、感動することのできる芸術と接触する機会を得ることが可能となる。